

輸出事業計画

※申請者名：株式会社れんこん三兄弟

品目：れんこん（加工品含む）

1. 輸出における現状と課題

当社の現状

- ・ 国内れんこん生産量1位を誇る茨城県を拠点に、年間300トンのれんこんを生産及び販売している
- ・ これまでフランス・ドイツへ累計582kgのれんこんを輸出
- ・ 国内の1人あたりれんこん消費量及び出荷量は過去20年間で安定的に推移しており、今後も一定の国内需要が期待できる
- ・ 一方、日本では人口減少によるマーケット全体の縮小が予想されることに着目し海外輸出を検討
- ・ れんこん食文化が浸透していない欧米、EU諸国では日本食レストランが急増していることから、将来的にれんこんマーケットが拡大していくと考えている
- ・ 日本のれんこん産業を担う農業法人として、世界におけるれんこんの認知を広げるためにも、輸出事業に取り組んでいく方針である

課題

①生産に関する課題

- ・ 生産原価低減
- ・ 出荷作業場の拡充

③EU（オランダ）に関する生産課題

- ・ 有機れんこん栽培
- ・ 包装資材の規制遵守

②販売・流通に関する課題

- ・ 輸出事務手続きへの対応
- ・ 新規販路開拓
- ・ 輸送費の削減

④アメリカに関する販売課題

- ・ 輸出事業者パートナーの発掘
- ・ FDA及びFSMAへの対応

2. 輸出事業計画の取組内容

①生産に関する課題

- ・ 使用資材の見直し、効率的な輸送網の構築による原価低減を行う
- ・ 経営規模、生産量の増大に備え、出荷作業場の拡充を行う

②販売・流通に関する課題

- ・ 輸出事業パートナーとの連携により、輸出に関する各種事務手続きや販路開拓に効率的に取り組む
- ・ また国内輸送費の低減に向けて、新たな輸送網を構築する

③EU（オランダ）に関する生産・加工課題

- ・ EU諸国で高まる有機志向に則り、有機れんこん栽培に挑戦する
- ・ 併せて今後対応が必要になると予想される、有機包装資材の利用も検討を開始する

④アメリカに関する販売課題

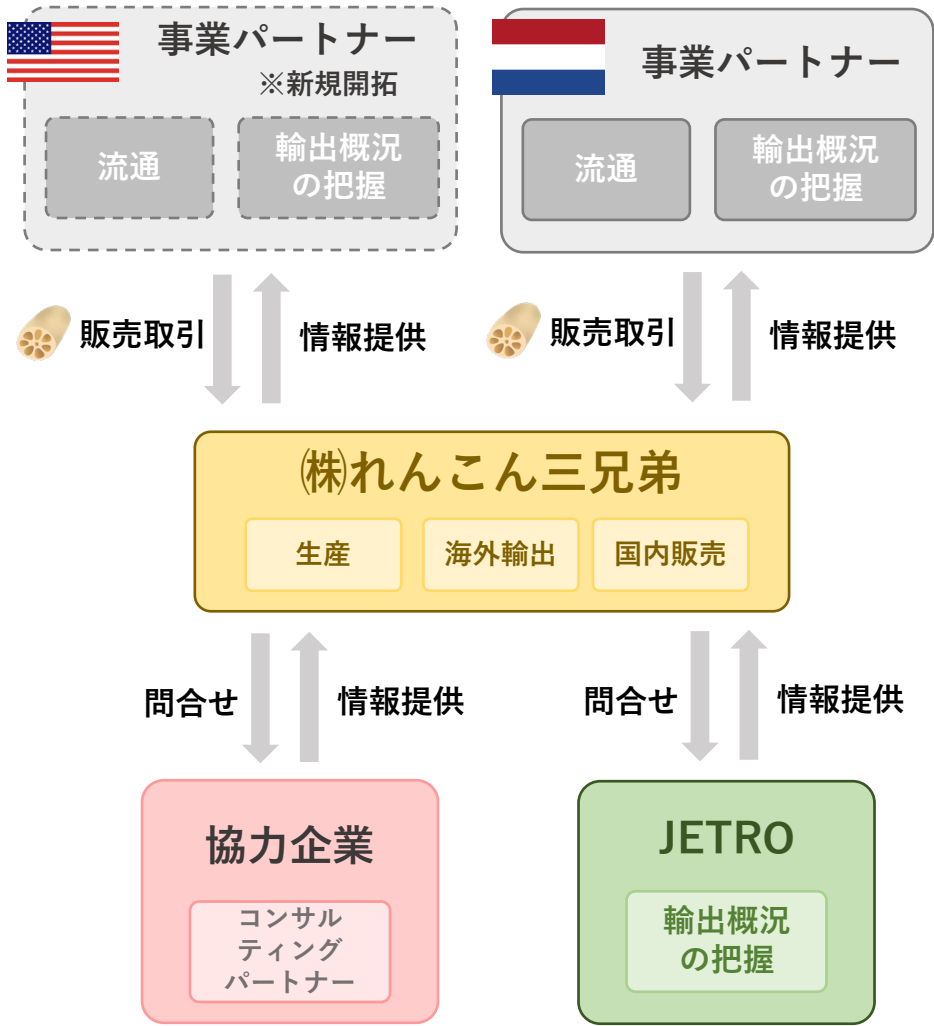
- ・ アメリカへ輸出に向けた事業パートナーの発掘を行う
- ・ 併せてFDA及びFSMAへの対応に迅速に取り組む

輸出事業計画

※申請者名：株式会社れんこん三兄弟

品目：れんこん（加工品含む）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状 令和3年	目標 令和10年
輸出額	0円	500,000円
輸出量	0kg	625kg
目標販売単価	0円/kg	800円/kg
輸出先国	無し	EU（オランダ）・アメリカ